

2015年10月16日

米国政府より「環境貢献企業」に認定 温室効果ガス排出量削減への取り組みを評価

ダイキン工業株式会社は、2015年10月15日、気候変動の一因となるハイドロフルオロカーボン類（HFCs）やその他の温室効果ガスの排出量の削減に貢献しているとして、日本企業で初めて、米国政府より「環境貢献企業」に認定されました。また、米国に拠点を置く子会社のグッドマン（Goodman）社も認定され、2社同時の認定となりました。

「環境貢献企業」の認定は、産業界全体で環境意識を高めてもらうことを目的に、積極的に環境貢献に取り組む民間企業の活動を評価するもので、今回が2回目の開催となります。認定式は10月15日にワシントンD.C.のホワイトハウスにて行われました。

当社の米子会社 Goodman 社は、昨年にも「環境貢献企業」の認定を受けていましたが、今回、米国国内だけでなくグローバルでの取り組みも高く評価され、両社の同時認定となりました。

【今回ダイキングループが評価された主な理由】

・次世代冷媒 HFC-32 を使用した、効率のよい壁埋め込み型空調機（PTAC）の生産・販売を開始

PTAC（Package Terminal Air Conditioning）は、米国のマンションやアパート、ホテル、高齢者向け住宅施設、病院などで広く使用されている、室内機と室外機が一体となった壁埋め込み式の空調・暖房システムです。2016年には、HFC-32を採用した新しいPTACを Goodman 社で製造し、販売を予定しています。

・HCFC-22 製造時の副生成物である、高 GWP の HFC-23 の確実な管理、破壊の取り組みを継続

一般的な噴射剤や冷媒に使われる HCFC-22 の製造時に副産物として生成される非常に地球温暖化係数（GWP）の高い HFC-23 の排出を厳しく管理し、破壊する取り組みを継続します。これは米国内だけでなく、世界中の拠点で適用されています。本取り組みで、年間で CO₂670 万トン相当の温室効果ガスの排出削減となります。

・HFC-32 冷媒を用いた空調機に関する 93 件の特許を全世界で無償開放

先月 10 日、空調機の HFC-32 単独冷媒への転換をグローバルで促進するため、「HFC-32 単独冷媒を用いた空調機の製造や販売に関する延べ 93 件の特許」を全世界に無償開放しました。HFC-32 は、環境に配慮したバランスのとれた次世代冷媒で、GWP は現在一般的に使用されている R-410A の 3 分の 1 であり、オゾン層を破壊せず、エネルギー効率も高い冷媒です。また手ごろな価格で入手でき、リサイクルが容易という利点もあります。

当社グループは、冷媒開発から空調製品の開発、生産、販売、アフターサービスまでを手がけるメーカーとして、今後もあらゆる手段で地球温暖化を抑制するための活動を積極的に展開し、世界規模で持続可能な社会の実現に貢献していきます。